

会員寄稿

# ハルピン731部隊ツアー

## オープンしたての侵華日軍罪証陳列館新館も見学

横山 隆 (羽咋市・外科、2019年北陸戦医研・日本キリスト者医科連盟有志合同訪中団団長)



完成したばかりの侵華日軍罪証陳列館新館の前で記念撮影



731部隊の人体実験などについて謝罪の思いを表明した「謝罪と平和の誓い」碑

キリスト者医科連盟有志と15年戦争と日本の医学医療研究会北陸支部との共催で2019年8月2日(土)5日に上記ツアーを催行したので報告する。

**1日目**  
新潟空港に朝、集合し、中国南方航空にてハルピン太平洋空港に13時45分に到着。バスで戦前、キリスト者の満州開拓村のあった長嶺子という村へ。開拓時代の建物は残っていない。夕食は、ハルピン市内の旧ヤマトホテルで、東北家庭料理を堪能。

**2日目**  
この日は、依副団長を始めクリスチャンの方たちと希望者は朝早くから市内の教会へ礼拝に。その後、平房の侵華日軍罪証陳列館へ。以前は史料として残っていた管理棟の建物の中の狭苦しい展示であった。しかし今回は、壮大な新展示館が建設され、より、わ

シリーズ  
原発・いのち・みらい  
その56

### 原発・核開発の現状に思う

## 未来を担う子どもたちに何を残せるのか

武藤 一彦 (白山市・小児科)

2011年3月11日、東日本大震災から津波、そして原発事故への繋がりを体験する中で、私たちは原発のみではなく、核そのものに対する認識を新たにしたように思う。そして、それを守る側となくす側の人間

世界の対立に、人間の良識と非常識の存在を垣間見る機会も得た。アインシュタインの大発見は、原子力という「夢のエネルギー源」と、非人道的な兵器「原子爆弾」を作り出した人類への、自らの存亡をかけた決

断が待ち構えていたことになる。人は何を選ぶのか？ 次世代への遺産をどう選ぶのか？ 人類が生態系の頂点に立つと自覚するならば、地球上の生物すべてへの存亡にかかった重大な決断として捉えるべきである。

アメリカ・ニューヨークから、日本を学びたいと、いま当家にホームステイ中の15歳の留学生が「Gen」の英語版「Barefoot Gen」(全10巻)を手渡したところ、3日で読破した。彼は、その感想を一言「おもしろかった」で片付けたが、どうおもしろかったのか、英文でよいから書いたら、と注文を出した。ケタ外れの大金の贈与は人間の判断を狂わせ、本来の仕事である電気事業に専念する気持ちがな

かりやすくまとまってリアルな展示となっていた。日本語ガイドの流れるヘッドフォンもストレスがなかった。犠牲者を追悼する場所があり、全員で献花し黙祷を捧げた。出口手前の広いホールの壁一面には、ジュネーブ協定からニュルンベルク綱領まで、歴史順に中国語で要旨が書かれていた。

午後は、金館長、楊副館長と、東北烈士記念館に。東北日闘争の歴史記念館。以前来た時とあまり変化は見られず、相変わらず、英語や日本語の表記はなく中国語のみ。また、ノーマン・ベ

長と懇談。以前は日本人の来館が最も多かったが、最近では韓国からの来館が多くなった。われわれが訪れた時も韓国から若い人たちがたくさん訪れていた。15年戦争と日本の医学医療研究会北陸支部の池田事務局長が最近の活動報告として、名簿に基づく元隊員の調査結果を報告。金館長は、「時間が無いので、早く日本全国で取り組むべきだ」と述べていた。懇談のあと、発掘された口号棟(四方楼)や、以前からある凍傷実験室、黄ネズミの保管庫、ABC企画の非戦平和の碑などを見てまわった。

**3日目**  
午前中は、東北烈士記念館、安重根記念館に。東北烈士記念館は東北地方の抗日闘争の歴史記念館。以前来た時とあまり変化は見られず、相変わらず、英語や日本語の表記はなく中国語のみ。また、ノーマン・ベ

も皆無であった。伊藤博文をハルピン駅で射殺した安重根の記念館は新しくなったハルピン駅の一区画にあり、質素な展示ながら、コンパクトにまとまっていた。義挙(テロ)をなしたのも、死刑になつたのも中国だが、義挙は朝鮮の抗日独立運動に大きなインパクトを与えた。午後、旧日本領事館、旧桃山小学校を車窓から見学し、松花江の辺りや中央大街を散策した。

731部隊による医学犯罪に対しては、いまだ正式な謝罪が日本政府からも日本医師会からもなされていない。私たちと金館長とのつながりがある限り、このようなツアーを継続し、若い医療人や医療を志す若者たちに繋いでいきたいと思う。今回は是非、平均年齢を下げ、医系学生を数人連れてツアーにしたいと考えている。



ハルピン駅と安重根記念館

## 漫才を武器に原発事故を追い続ける!

### 第17回原発・いのち・みらいシリーズ講演会

# 芸人・記者おしどりマコ・ケンの原発事故取材報告



まず知ることが社会を変える!

2019年 12/15 [日] 10:00~12:30

ホテル金沢 2階 ダイヤモンド

無料 申込み必要

主催 石川県保険医協会

は「Barefoot Gen」を読んだ感じだ、そのままを教えたい。その物語は、原爆投下後の日本の悲劇を綴ったものだ。Genを正しく読み解く人が増えることが、核兵器根絶に繋がるだろう。

さて、最近の報道で、自国、ほかにもこのような金銭の授受があるならば、早急な説明が必要である。少なくとも、金銭の多寡が核問題の議論の流れを左右する状況があつてはならない。日本にとって、また、その未来にとって、引き継ぐ子どもたちに負の遺産を残すべきではないという気持ちになつて選択することが重要である。負の遺産が多ければ多いほど、人類の希望を削ぐことになり、それは人類の貧困を増強し、争いの多い地球の再現に至らしめる。逆に考えれば、核からの脱却こそが人類と地球の再生に繋がることを銘記したい。